

## 令和5年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立立川第二中学校

2. 令和5年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一学年は「地域（立川市）」、二学年は「勤労・福祉」、三学年は「国際理解、平和学習」について取組み、立川市の現状について知り、深めることができた。</li> <li>・職場体験や福祉学習など体験を通して地域と関わることができた。</li> <li>・立川市民科公開講座（9月実施）では、数多くの市内の講師による講座を設け、立川の魅力を感じ、関心を高めることができた。</li> </ul>
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立川市民科の学びから、主体的な地域貢献につなげたい。</li> <li>・地域人材や地域資源の有効活用をより計画的に行う。</li> <li>・立川市民科の取組について保護者への浸透を目的に周知する。</li> </ul>

3. 令和5年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
28.5%	46.8%	9.4%	3.5%	11.8%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
18.2%	44.9%	5.5%	1.7%	29.8%